

第15回(仙台第3回)海洋教育フォーラム

私たちの海～恵みと恐れ～

開催日：平成27年11月14日(土)

開催場所：東北工業大学八木山キャンパス937教室

共催：日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会・東北工業大学

後援：宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、
河北新報、TBC、建設新聞社、教育新聞社

プログラム

12:50 開会の辞 宮城光信 東北工業大学学長
小林正典 海洋教育推進委員会委員長

第1部 海を知る

13:05-14:05 佐藤 徹 東京大学教授
[恵み] 海からのエネルギーとメタンハイドレート

14:05-15:05 松富英夫 秋田大学教授
[恐れ] 津波の破壊力

<休憩 10分>

第2部 未来を考える

15:15-16:55 テーマ 「恵みと恐れの下で海とともに」
コーディネーター：今西 肇 東北工業大学教授
登壇者：須田善明 女川町長
佐藤 仁 南三陸町長(予定)
佐藤 徹 東京大学教授
松富英夫 秋田大学教授

16:55 閉会の辞 新井信一 実行委員会委員長

[司会] 高橋敏彦 東北工業大学教授

我国を囲む広い海洋には、津波などの恐れもありますが、魚介類などの食料資源に恵まれ、エネルギー資源や鉱物資源の高いポテンシャルもあります。恐れは一時的であり恵みは常時で持続的なので、恐れを軽減しながら大いなる恵みを海に求めていく必要があります。

このフォーラムでは、恵みと恐れをよく理解して海との上手な付き合い方を探ります。

過去2回のフォーラムでは、エネルギーとして風力発電と波力発電を、また漁業資源として海洋牧場を、さらに災害として津波と高潮の性質を取り上げました。

今回のメタンハイドレートは、資源が乏しいと言われてきた我が国が持つ、新たなエネルギー資源として期待されているものです。また、津波では構造物へのその破壊力に焦点を当てます。

さらに、震災復興の途上にある町の現状を具体例として伺いながら、海辺のまちのあり方を探っていきます。

是非多数の市民および教員の皆様にご来場をいただき、私たちの海への知識をさらに確かなものとし、未来の社会の姿に思いを馳せてみませんか。

問い合わせ先：

東北工業大学工学部都市マネジメント学科
防災共同研究室 Phone 022-305-3512
学科事務室 Phone 022-305-3500
Eメール s.arai@tohtech.ac.jp

会場住所：仙台市太白区八木山香澄町35-1 (駐車可)
(アクセスは <http://www.tohtech.ac.jp/access/> で)



私たちの海～恵みと恐れ～

開催日：平成27年11月14日(土) 開催場所：東北工業大学八木山キャンパス 937 教室

参加申込書 (Fax送信先 022-305-3501)
(Fax送信元)

平成27年 月 日

ふりがな 氏名 (グループの場合は代表者)	年齢 歳	職業など
連絡先 A)-住所： B)-E メールアドレス： C)-電話：		

※可能ならばBを記入ください。その場合、Aは市区町まで。

グループで参加の方は下表に記入してください。

氏名	年齢	職業など

参加申込み

- Webで : https://eihan.com/mecc_sendai/
- E-mailで: s.arai@tohtech.ac.jp
- Faxで : 022-305-3501 (学科事務室)

「第15回海洋教育フォーラム参加申込み」、「氏名」、「年齢」、「職業」、「連絡先」を記入してください。

先着200名 参加費:無料 締切11月12日(木)



参加申込みWebサイト